

## 横須賀美術館企画展

### 「さくらももこの世界展」の開催について

- 1 展覧会名 デビュー30周年記念 さくらももこの世界展
- 2 会 期 平成 28 年 4 月 23 日 (土) ~ 6 月 19 日 (日)  
\*休館日 5 月 9 日 (月)、6 月 6 日 (月)
- 3 主 催 横須賀美術館
- 4 協 力 さくらプロダクション、集英社、小学館、新潮社、  
フジテレビジョン、日本アニメーション
- 5 企画制作 東映
- 6 観 覧 料 一般 900 (720) 円 / 高大 65 歳以上 700 (560) 円 / 中学生以下無料

#### 7 概 要

「ちびまる子ちゃん」の作者として知られる『さくらももこ』は、1984 年のデビュー以来、「COJI-COJI」など数多くの作品を生み出し、作詞家、脚本家、エッセイストとしても活躍しています。

この展覧会では、表紙絵や絵本の原画約 130 点を中心に、プライベートでつくった立体作品やコレクションしているもの、音楽とかかわる仕事やエッセイの原稿などゆかりの品々も展示し、さくらももこの世界をご紹介します。

懐かしくほのぼのとした作品世界を是非ご覧ください。

#### 8 関連事業

- (1) 豆こけし絵付けワークショップ  
5 月 14 日 (土) 14 時 - 15 時  
講師：カガモク <sup>か が こうじ</sup> 加賀 浩嗣 (木工作家)  
定員：小学生以上 30 人
- (2) 学芸員によるギャラリートーク (大人向け)  
4 月 23 日 (土) 14 時 -
- (3) 学芸員によるギャラリートーク (親子向け)  
5 月 28 日 (土) 11 時 - 12 時

デビュー30周年記念

# さくらももこの世界展

2016年

4月23日【土】▶6月19日【日】

開館時間●10時~18時

休館日●5月9日【月】、6月6日【月】

ようこそ！

ワクワクお楽しみ

ももこのワールドへ

みんなで行こう

観覧料●一般900(720)円、高大生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料  
\*( )内は20名以上の団体料金および前売り料金(前売りは4月22日まで) \*前売り券は美術館受付、横須賀芸術劇場チケットセンター(横須賀芸術劇場1階、横須賀中央駅モアーズシティ1階)でお求めになれます \*横須賀市内在住または在学の高校生は無料  
\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添1名様は無料  
主催●横須賀美術館 協力●さくらプロダクション、集英社、小学館、新潮社、フジテレビジョン、日本アニメーション 企画制作●東映

©MOMOKO SAKURA ©SAKURA PRODUCTION

## 横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 TEL.046-845-1211(代表)

ホームページ: <http://www.yokosuka-moa.jp/>

モバイルサイト: <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>

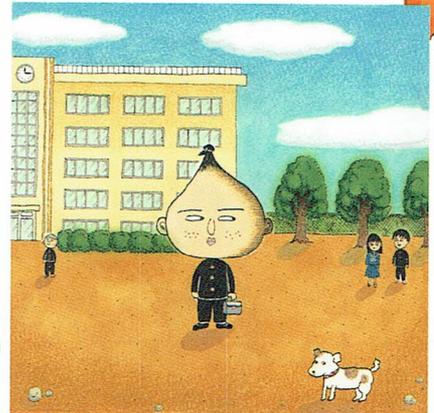
「ちびまる子ちゃん」の作者として知られるさくらももこ（1965- ）は、1984年の漫画家デビュー以来、「COJI-COJI」など数多くの作品を生み出し、作詞家、脚本家、エッセイストとしても活躍しています。この展覧会では、表紙絵や絵本の原画約130点を中心に、プライベートでつくった立体作品やコレクションしているもの、音楽とかかわる仕事やエッセイの原稿などゆかりの品々も展示し、さくらももこの世界をご紹介します。懐かしくほのぼのとした作品世界を是非ご覧ください。



「ちびまる子ちゃん」  
その1 P1  
(1986年)



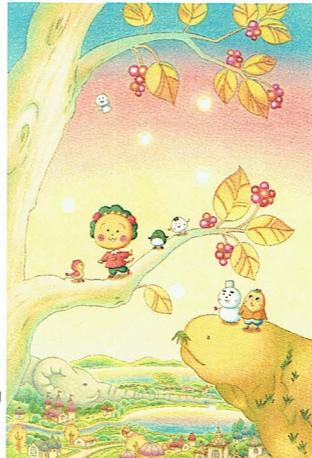
「ちびまる子ちゃん」  
その116 扉絵  
(2002年)



単行本  
「永沢君」  
表紙絵  
(1995年)



「ちびまる子ちゃん」  
その77 扉絵  
(1993年)



「コジコジ」  
第36話 扉絵  
(2012年)



「ちびまる子ちゃん」  
その132 扉絵  
(2014年)

### 関連イベント

\*詳細はHPをご覧ください。

#### ■豆こけし絵付けワークショップ

さくらももこ先生の「ものづくり」で紹介されている手作りこけし。簡潔な中に愛らしさを感じさせるその表情は、作品の登場人物の表情とも重なります。展覧会「さくらももこの世界」を鑑賞し、ワークショップで小さな豆こけしに絵付けをしてオリジナルこけしを作ってみませんか（絵付けにろくろは使いません）。

日時：5月14日（土）14時～15時（予定）

場所：横須賀美術館ワークショップ室

講師：カガモク 加賀浩嗣（木工作家）

定員：小学生以上30人（小学生は親子やそれに準ずる組み合わせでご参加ください。大人だけの参加も可）。\*豆こけし（高さ約15cm）は一人一個絵付けをし、ネックレスかストラップに加工できます。

参加費：1人1000円+「さくらももこの世界」展観覧券  
\*中学生以下、市内在住・在学の高校生は観覧料無料。事前に観覧券をお買い求めください。

参加方法：事前申込制。参加希望の方は、人数、代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加者全員の氏名・年齢を明記の上、はがきかEメールで「さくらももこ展WS」係までお申し込み下さい（1通で4名まで応募できます）。4月30日（土）必着。応募多数の場合は抽選となります。申込み締切り後に、抽選の結果等をお知らせします。

#### ■学芸員によるギャラリートーク

1. 大人向け

日時：4月23日（土）14時～

\*申込み不要、直接会場（1階展示室）にお越し下さい。参加には観覧券が必要です。

2. 親子向け

日時：5月28日（土）11～12時

子どもと一緒に楽しく展覧会をめぐる。ご家族でご参加ください。

対象：5歳から小学4年生の子どもとその保護者

定員：5組

\*参加無料、事前申込み制（5月13日（金）必着）。ただし、保護者の方は観覧券が必要です。

■イベント時に、手話通訳や要約筆記が必要な場合は各実施日の2週間前までに相談ください。

#### 託児サービス

5月10日（火）、6月10日（金）の13:30～16:00、およびワークショップ開催時に託児サービスを実施します（定員5名、事前申込制、対象は1歳～未就学児）。利用日・保護者の氏名・住所・電話番号・託児を希望するお子さまの人数・年齢・性別をご記入の上、はがきかEメールでお申し込みください。締切りは各実施日の2週間前まで。定員（各日5名）に達した場合は抽選。詳細は利用決定後にご案内します。

### 交通のご案内

#### 【電車をご利用の場合】

- 京浜急行「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行きバスで「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分
- 京浜急行「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分

#### 【お車をご利用の場合】

- 横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km
- 駐車場（120台）：最初の1時間310円、以降150円/30分、上限1,510円/日（展覧会ご観覧の方は1時間無料）



## 横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 TEL.046-845-1211(代表)

ホームページ: <http://www.yokosuka-moa.jp/>

モバイルサイト: <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>

横須賀市観光局

同時開催

所蔵品展 特集：月岡榮貴  
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展  
「雨模様・晴れ模様」

予告

自然と美術の標本展  
7月2日（土）～8月21日（日）

[https://twitter.com/yokosuka\\_moa](https://twitter.com/yokosuka_moa)

<https://www.facebook.com/yokosukamoa/>

<https://www.facebook.com/rokuroman/>

### 企画展

嶋田しづ・磯見輝夫展  
2/6(土) ▶ 4/10(日)

さくらももこの世界展  
4/23(土) ▶ 6/19(日)

自然と美術の標本展  
7/2(土) ▶ 8/21(日)

女性を描く  
9/3(土) ▶ 10/23(日)

新宮 晋の宇宙船  
11/3(木・祝) ▶ 12/25(日)

中村光哉展  
2/11(土・祝) ▶ 4/16(日)

所蔵品展  
▶ 4/3(日)

特集 月岡宗賞  
4/9(土) ▶ 7/3(日)

特集 川田祐子  
7/9(土) ▶ 9/25(日)

特集 日本画「おもしろい」  
10/1(土) ▶ 12/11(日)

特集 若林秘絵子  
12/17(土) ▶ 4/9(日)

合内六郎館  
▶ 4/3(日)

〈週刊新潮表紙絵〉展  
4/9(土) ▶ 7/3(日)

〈週刊新潮表紙絵〉展  
7/9(土) ▶ 9/25(日)

〈週刊新潮表紙絵〉展  
10/1(土) ▶ 12/11(日)

〈週刊新潮表紙絵〉展  
12/17(土) ▶ 4/9(日)

\* 会期や内容は変更になることがあります。\* 観覧料: ()内は20名以上の団体料金または前売券料金



### デビュー30周年記念 さくらももこの世界展

2016年4月23日(土) - 6月19日(日)  
休館日: 5月9日(月)、6月6日(月)

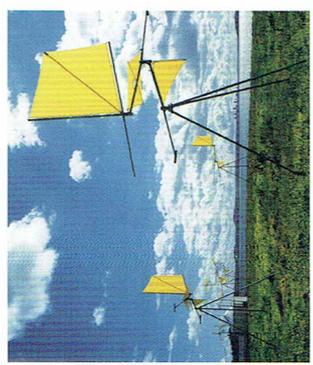
デビュー以来、「ちびまる子ちゃん」「COJI-COJI」など多くの作品を生み出し、幅広く活躍中のさくらももこ。表紙絵や絵本の原画約130点を中心に、プライベートでつくった立体作品やコレクションしているものに加え、エッセイの原稿など様々な資料も展示します。

観覧料 一般: 900(720)円  
高生、65歳以上: 700(560)円

さくらももこ(30周年原画展用イラスト) 2014年  
©MOMOKO SAKURA  
©SAKURA PRODUCTION

### 新宮 晋の宇宙船

2016年11月3日(木・祝) - 12月25日(日) 休館日: 11月7日(月)、12月5日(月)



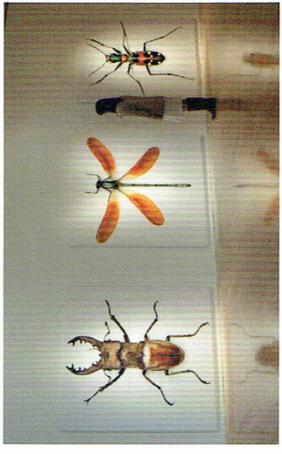
ウインドキャラバン ニューゼーランド 2000年

風や水といった自然エネルギーを受けて、ユニークな動きをみせる屋外彫刻で知られる新宮晋(1937-)が、美術館という屋内空間に挑む個展。海の広場には、世界中を旅した「ウインドキャラバン」が出現します。

観覧料 一般: 900(720)円 / 高生、65歳以上: 700(560)円

### 自然と美術の標本展

「モノ」を「みる」からはじまる冒険  
2016年7月2日(土) - 8月21日(日) 休館日: 7月4日(月)、8月1日(月)



標本典典+scope (life-size) 展示風景 ©加藤健

美術館と博物館の境界を越えて、現代作家—江本創、鉱物アノビ、橋本典久・原田要・plaplax・山本彌の作品を横須賀市自然・人文博物館の収蔵資料と併せて展示します。柔軟で自由な知の冒険ができる展覧会です。

観覧料 一般: 800(640)円 / 高生、65歳以上: 600(480)円

### 女性を描く

クールベル、ルノワールからマティスまで  
2016年9月3日(土) - 10月23日(日)  
休館日: 9月5日(月)、10月3日(月)



ギュスターヴ・クールベ(回想)1864年  
シャルトル社会道徳美術館、ドゥエ  
© Douai, Musée de la Chartreuse

観覧料 一般: 1,200(960)円  
高生、65歳以上: 1,000(800)円

### 第69回 児童生徒造形作品展

2017年1月12日(木) - 1月30日(月) 会期中無休



第68回展示作品

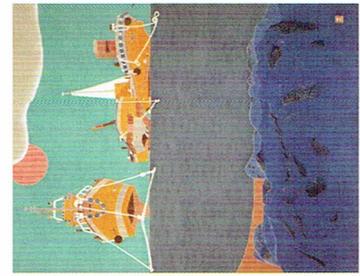
横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校の子ども達による作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点の展示を通して、子ども達の制作意欲や作品への思いをお楽しみください。

観覧料無料

### 横須賀ゆかりの友禅作家

### 中村光哉展

2017年2月11日(土・祝) - 4月16日(日)  
休館日: 3月6日(月)、4月3日(月)



中村光哉(好日)1989年 当館蔵

横須賀の港の風景を友禅の技法で表現した、染色作家・中村光哉(1922-2002)。本展では、当館が所蔵するこれらの横須賀風景に、ろう染めによる初期作品を加え、色彩豊かな中村光哉の世界の全貌をご紹介します。

観覧料 一般: 800(640)円  
高生、65歳以上: 600(480)円

第1期

特集 月岡榮貴  
2016年4月9日(土) — 7月3日(日)

月岡榮貴(1916-1997)は、日本美術学校日本画科を首席で卒業し、前田青柳に師事。歴史画や人物画に金や銀による装飾技法を独自に取り入れ、院展で活躍しました。生涯100年を記念し、改めてその画業を振り返ります。

月岡榮貴(風神雷神) 1985年 当館蔵



第2期

特集 川田祐子  
2016年7月9日(土) — 9月25日(日)

横須賀市で育った川田祐子(1962-)は、スワッチとハッチングを併用した、緻密でスケールの大きい絵画を制作してきました。本展では彼女の近年の歩みと、アクリルから油彩へ変化し、草花をモチーフとした新たな展開を紹介します。

川田祐子(蓮華の花) 2015年 個人蔵



第3期

特集 日本画っておもしろい  
2016年10月1日(土) — 12月11日(日)

日本画と聞くと「難しそう」という印象を持つ方も多いのではないのでしょうか? 本展では、もっと日本画を知っていただくことと、独自の絵画形式である「掛軸」や「屏風」などにスポットを当てながら作品を紹介します。

聖山南風(白牛) 1935年 当館蔵  
Hisako Kaiyama 2016/JAA 1600035



第4期

特集 若林砂絵子  
2016年12月17日(土) — 2017年4月9日(日)

若林砂絵子(1972-2008)は、多摩美術大学、同大学大学院を修了後、渡仏。パリ国立高等装飾美術学校、パリ第1大学を卒業。はじめ油彩画を、渡仏後は版画や立体作品など幅広い制作に取り組みました。様々な模索の中に自らの表現を追求した足跡をたどりませう。

若林砂絵子(Untitled) 2000年 個人蔵



谷内六郎館 / 別館

TANIUCHI Rokuro Pavilion

- (週刊新潮表紙絵)展 2016年4月9日(土) — 7月3日(日)
- (週刊新潮表紙絵)展 2016年7月9日(土) — 9月25日(日)
- (週刊新潮表紙絵)展 2016年10月1日(土) — 12月11日(日)
- (週刊新潮表紙絵)展 2016年12月17日(土) — 2017年4月9日(日)

開館時間  
10:00~18:00

休館日  
\*毎月第11月曜日(祝日の場合は開館)  
\*臨時休館日 5月9日(月)、2017年1月10日(火)、2月7日(火)  
\*年末年始 12月29日~2017年1月3日

観覧料  
【所蔵品展 谷内六郎館】  
一般 310(250)円/高校生・大学生・65歳以上の方 210(160)円  
(企画展)各展覧会によって異なります。中面の各展覧会欄をご覧ください。  
(企画展)チケットで、所蔵品展・谷内六郎館は無料でご覧いただけます。  
\*( )内は20名以上の団体料金、または前売券料金  
\*次の方は所蔵品展、谷内六郎館および企画展がすべて無料です。  
●15歳以下(高校生は除く)  
●身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介助される方1名  
●横須賀市内に在住または在学の高校生  
●教育活動で小・中学校など団体を引率される方  
お得な年間/入館券も販売しています。  
詳しくはお問い合わせ下さい。

無料観覧日  
11月3日(文化の日)、  
2017年2月12日(市制記念日(2月15日)に直近の日曜日)

無料観覧日  
11月3日(文化の日)、  
2017年2月12日(市制記念日(2月15日)に直近の日曜日)

無料観覧日  
11月3日(文化の日)、  
2017年2月12日(市制記念日(2月15日)に直近の日曜日)



■駐車場 8:00~22:00 無休	普通自動車 (120台)	最初の1時間310円 以降150円/30分 上限1,510円/日 (展覧会ご観覧の方は1回無料)
自動二輪車・原動機付自転車	1回210円 (展覧会ご観覧の方は無料。自転車は無料。)	
大型バス	1回1,540円 (事前の子約が必要です。詳しくはお問合せ下さい。)	

\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料。(清算時にご提示下さい)

横須賀美術館  
YOKOSUKA MUSEUM OF ART  
〒229-0813 横須賀市鶴屋4-1 TEL:046-845-1211  
http://www.yokosuka-moa.jp/

展覧会

ヌケジュール

2016年4月 — 2017年3月

Exhibition Schedule  
2016 April — 2017 March



「自然と美の鑑賞展」(72~82) 出品作品  
plapax(シムラの彫本、リク/ウミ/ソノラ)2013年  
写真提供:SKIP ラナデ 映像:ユウラフム

横須賀美術館  
YOKOSUKA MUSEUM OF ART